

試験成績報告書

報告先	発行年月日	試験年月日		
社 内	2019/3/14	2019/3/14		
件名 衝撃試験	試験料 PFR-TSA	発行No. 19-080-I		
		承認	確認	担当

試験評価

本試験に於いて、BL規格のレベルⅢでは破損は認められなかった

試験目的

吊り戸棚に耐震ラッチが付いている場合の耐衝撃強度を確認する。

判定基準

扉が開く、もしくはラッチ機構が破損する衝撃高さについて以下のレベル確認を行う。

試験1:レベルⅠ 衝撃高さH=6cm以上	} BL規格	試験6:レベルⅥ 衝撃高さH=42cm以上
試験2:レベルⅡ 衝撃高さH=12cm以上		試験7:レベルⅦ 衝撃高さH=48cm以上
試験3:レベルⅢ 衝撃高さH=24cm以上		試験8:レベルⅧ 衝撃高さH=54cm以上
試験4:レベルⅣ 衝撃高さH=30cm以上		試験9:レベルⅨ 衝撃高さH=60cm以上
試験5:レベルⅤ 衝撃高さH=36cm以上		試験8:レベルⅩ 衝撃高さH=66cm以上
		試験9:レベルⅪ 衝撃高さH=72cm以上

備考

試験方法

試験: 衝撃試験

- ・吊り戸棚の扉に衝撃を加えられるように躯体に固定する。
(PFR-TSA の施工状態は標準状態で試験を行う。)
- ・衝撃体は長方体型亜鉛合金塊重り(質量2kg)とし長さ1mで吊り下げた振り子型の衝撃試験を試験を行う。
- ・衝撃位置は、試験試料の上部10cm付近とし、扉の材質の影響を受けないよう、当て板(40cm×20cm、厚さ12cmラワン合板)を扉前面に取り付ける。
- ・目標とするレベルの高さから3回衝撃力を加える。

試験時
温度: 16.6°C
湿度: 20%

写真1. 試験設置方法



図2. 試験設置状態(本体と受けの位置)

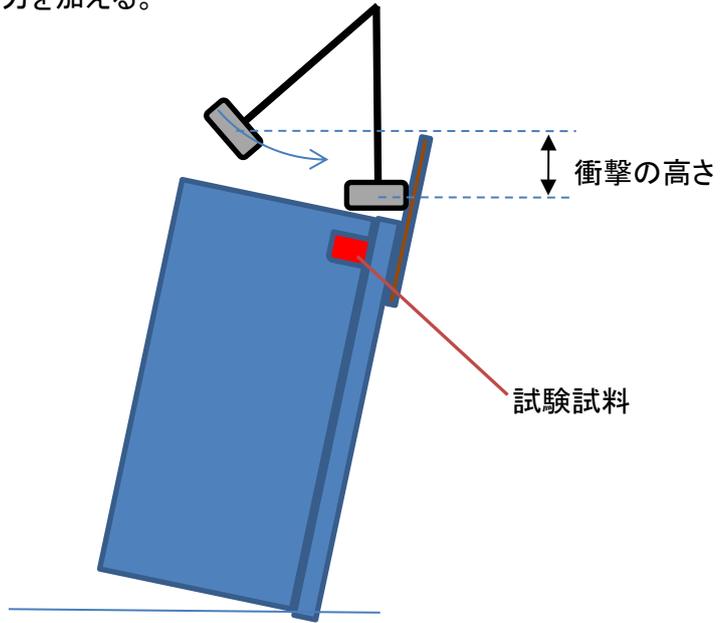


図1. 試験設置図

20° キャビネットを傾けて設置し
強制的にロックがかかった状態で試験を行う

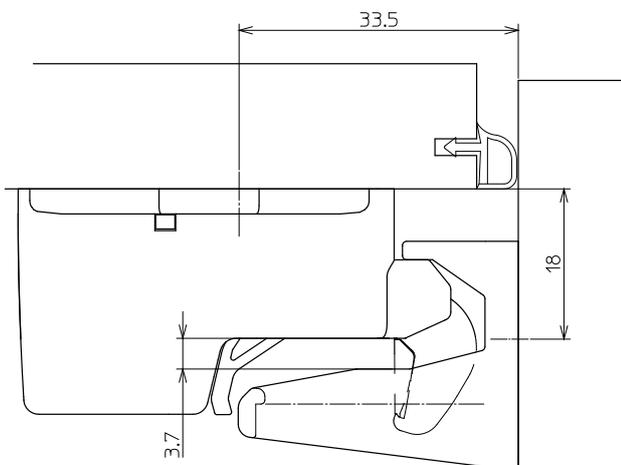


図2.1 受け下限位置

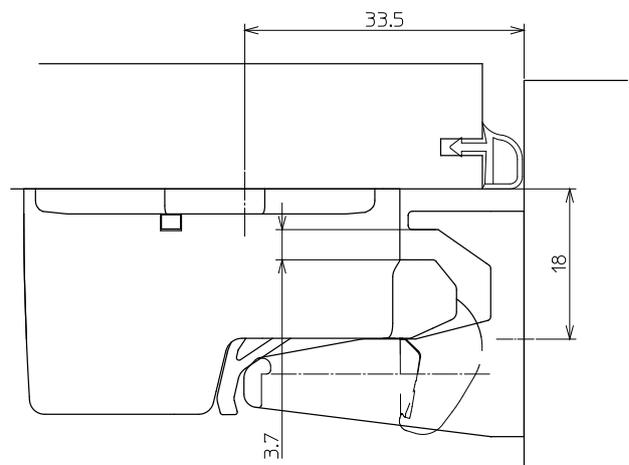


図2.2 受け上限位置

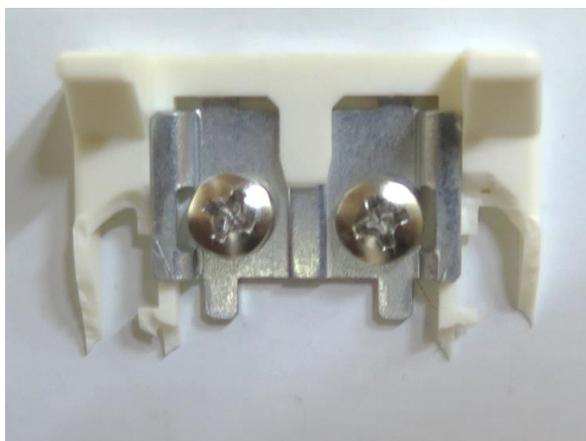
試験成績報告書

発行No. 19-080-I

試験結果

レベル	掛代下限(初期受け作動力5.2N)			
	1回目	2回目	3回目	受け作動力(N)
I	○	○	○	4.7
II	○	○	○	4.5
III	○	○	○	4.5
IV	○	○	○	4.3
V	×	-	-	-
VI	-	-	-	-
VII	-	-	-	-
VIII	-	-	-	-
IX	-	-	-	-

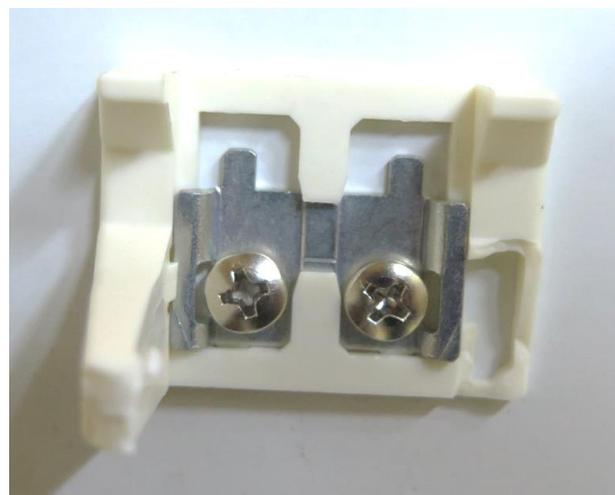
○…異常なし ×…ラッチ受け破損



ラッチ受け破損

レベル	掛代上限(初期ラッチ受け 作動力5.4N)			
	1回目	2回目	3回目	受け作動力(N)
I	○	○	○	5.4
II	○	○	○	4.8
III	○	○	○	4.0
IV	○	○	○	3.8
V	○	○	○	3.3
VI	×	-	-	-
VII	-	-	-	-
VIII	-	-	-	-
IX	-	-	-	-

○…異常なし ×…ラッチ受け破損



ラッチ受け破損